

# グローバル・マインドを身に付け 自立・自己実現に向かう生徒 を育てる



新潟市立岩室中学校

**誰もが幸せになる持続可能な社会を創るのは、自分の可能性を信じ、志をもってしなやかに粘り強く挑み続けられる人。あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、対話、協働できる人です。**

**「知りたい」「何とかしたい」を解決しようと真剣に考え、多様な人々と力を合わせて挑戦し答えを創り出していく過程を通して、子どもたちの学びに向かう意識や行動が変わり、自分の未来、地域と社会の未来の創り手に成長していく学校を目指します。**

# 子どもたちへの願い・思い

**「未来を創る」人材になってほしい**

自分の未来、地域社会の未来の創り手に



## 中学校の使命

**「自立・自己実現」に向かう力を育てること**



## 教育理念（教育目標）

**「自主・協同」の教育**

## 求める生徒像

よりよい自分の在り方を求めて  
真剣に努力する生徒

↓  
具体

- ① 目標を設定し、よりよく変わろうとする
- ② 進んで考えを創り出し、吟味し、判断する
- ③ 前に踏み出し、やり抜く
- ④ 学びを振り返り、成長を自ら価値付ける

# 「自立する」とは

- ★自分の力で、「計画（P）・実行（D）・評価（C）・改善（A）」のサイクルを回せる
- ★当事者意識をもち、創造性と変革する力（エージェンシー）を発揮して社会に参画・貢献する



言葉や情報を使いこなす力

自分をコントロールしながら様々な集団の中で協働できる力

グローバル・マインド（Think Globally, Act Locally）

# 言語や情報を使いこなす力(思考力・ICT活用)

目的に応じた必要な情報を取り出し、解釈、分析、評価し、多面的・多角的な観点や根拠を基に自分の考えを筋道立てて説明する。

- ①情報を取り出し吟味する
- ②論理的に組み立てて表現する

批判的思考

ICT活用スキル

情報と情報をつないだり、別の場面に応用したりして、問題や課題を見付け解決策を考え出したり新しいアイデアを生み出して新たなものを創り出す。

- ③情報を関連付ける・類推する
- ④問題や課題を見出し解決や達成のための策を生み出す

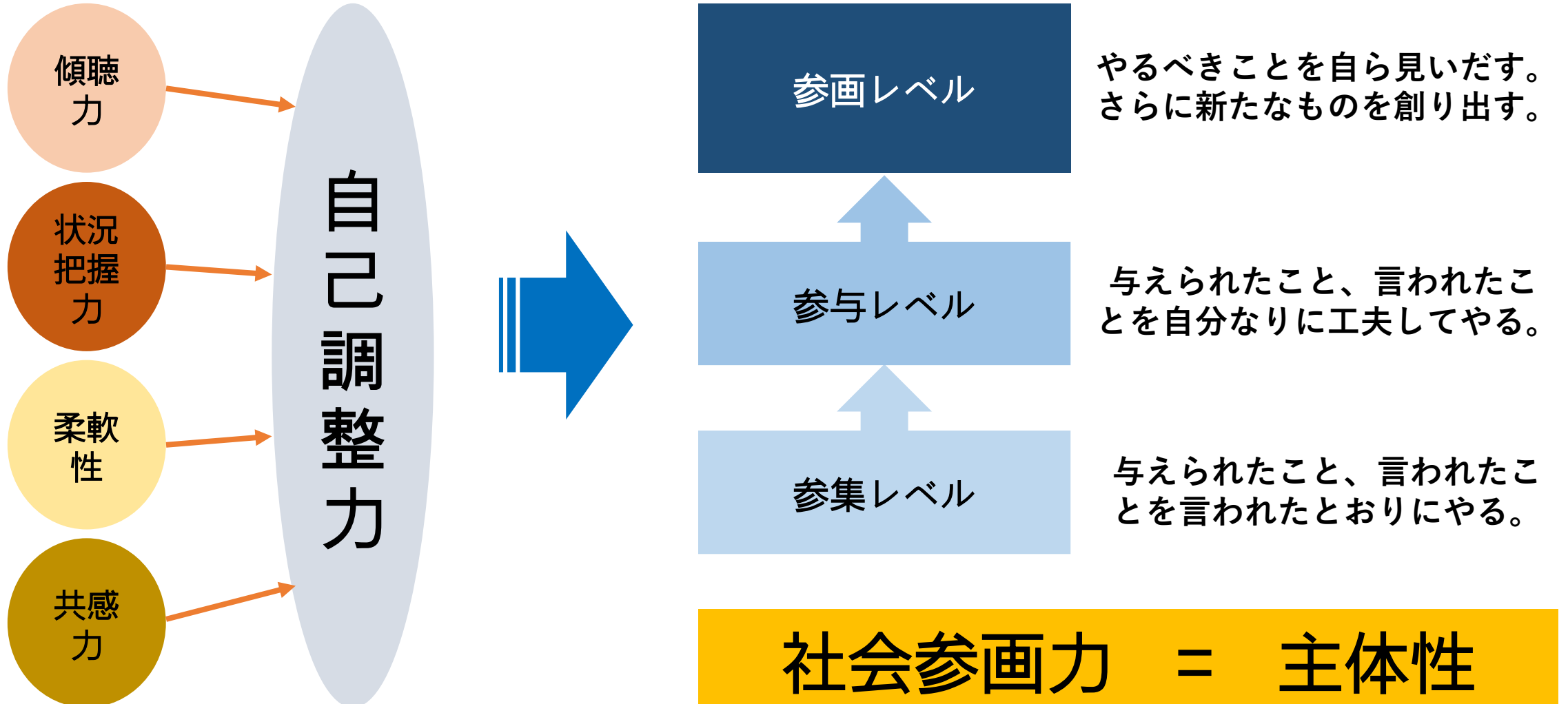
創造的思考

他者との共通点や違いを理解し、目的に応じた効果的なコミュニケーションをとって気づきを得たり合意を形成したりする。

- ⑤他者との共通点・違いを理解する
- ⑥積極的に対話を通して考えを深める

協働的思考

# 自分をコントロール(自己調整力を発揮)しながら 様々な集団の中で協働できる社会参画力



正解のない予測困難なこれからの時代、社会を生きていくのに必要なのは、人に対する好奇心や豊かな想像力、それを基に新しい価値を生み出していくことです。

それを育むために学校での学びが実社会で必要なこととつながるように進化させます。

**資質・能力の三本柱**（「実際の社会や生活で生きて働く知識・技能」「未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力等」「学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性など」）に加え、当校では、すべての学習の基盤となる資質・能力として、「言語や情報を使いこなす力」「前に踏み出し、やり抜く力」「グローバル・マインド」「メタ認知する力」の四つを特に力を入れて育成します。

これらの資質・能力を、さまざまな活動を通して自主と協働の往還を促す中で、生徒の具体的な姿として発揮させ、繰り返し経験させながら確かな力にしていくことで、自立した大人として必要な「自分でPDCAのサイクルを回していける力」「自己肯定力」「自己調整力（自分をコントロールしながら様々な集団の中で協働し、粘り強く課題解決に取り組む力）」「当事者意識をもち、創造性と変革する力を発揮して集団・社会に参画・貢献する社会参画力（主体性）」などを育みます。



# 育成を目指す資質・能力

## 1 教科等の学習で育成する資質・能力の三本柱

考えを創る、考えを吟味する、考えを表現するときに活用・発揮される知識や技能

考えを創る、考えを吟味する、考えを表現する力（思考力・判断力・表現力）

自分をコントロール(自己調整)しながら、様々な集団の中で協働でき、粘り強く課題解決に取り組む力  
思いやり、感じる心などの人間性等

## 2 当校で重点を置く、すべての学習の基盤となる(教科横断的に育成する)資質・能力

認知

言語や情報を使いこなす力

批判的思考・創造的思考・協働的思考

ICT活用スキル

非

前に踏み出し、やり抜く力

認

グローバル・マインド

知

メタ認知する力

PDCAを回していく力

自己肯定力

社会参画力(主体性)

# 「自立」の三つの側面

考えを創る、考えを吟味する、考えを表現するときに活用・発揮される知識や技能

考えを創る、考えを吟味する、考えを表現する力(思考力・判断力・表現力)

メタ認知する力

グローバル・マインド

前に踏み出しやり抜く力

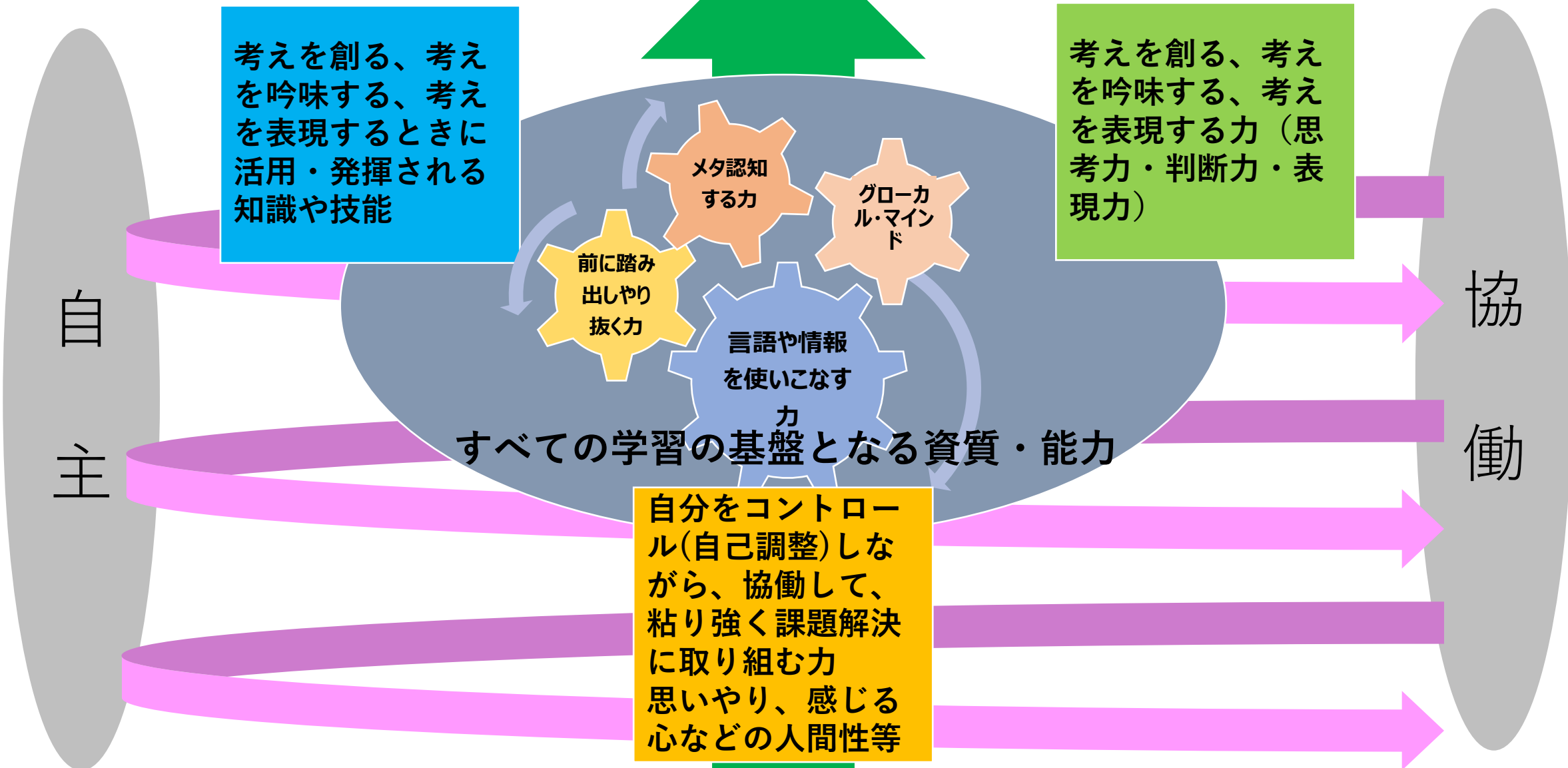
言語や情報を使いこなす力

すべての学習の基盤となる資質・能力

自分をコントロール(自己調整)しながら、協働して、粘り強く課題解決に取り組む力  
思いやり、感じる心などの人間性等

自主

協働



# 目指す資質・能力を育てるための方策7

キーワードは



- ★ 学びを社会とつなぐ
- ★ 「自主」と「協働」の往還
- ★ メタ認知を促す

# 目指す資質・能力を育てるための方策7

- ① 問題意識や当事者意識を触発し、目的意識をもたせる場や働き掛けを充実させる。
- ② 多面的、多角的に考えを吟味し、判断することを促す場や機会、働き掛けを充実させる。
- ③ タブレット端末を活用し、対話的な活動によって得られた情報を整理統合して考えをまとめたり、獲得した知識や考え方を形として表現したりするアウトプットの場や機会を充実させる。
- ④ 学びを実社会や世界の現実、自分の在り方や生き方とつなぐ場や機会を充実させる。
- ⑤ 段取りを組み立てて実行していくための方法、効果的なスキルを体験的に身に付けさせる場や機会を充実させる。
- ⑥ 試行錯誤(トライ&エラー&トライ)を促す場や機会を充実させる。
- ⑦ 目標や指標に基づいて自らの成長を振り返り、さらにどう成長したいのかを考え、決める場や機会を充実させる。

# 2021年度 実践の重点と具体的手立て

キーワード ⇒ 「学びを社会とつなぐ」「自主と協働の往還」「メタ認知」

## 1 Withコロナ時代の安全で安心な学校生活と学びの保障

## 2 各教科等の見方・考え方を働かせて深い学びが生まれる授業づくり

- ① 生活や実社会の現実の事象と知識・技能の往還が促される課題解決型学習や探究的な学習過程の工夫
- ② 細かな形成的評価のフィードバックとタブレット端末の活用による学習の個別最適化や自己調整を促す工夫
- ③ 目指す資質・能力の評価基準の明確化と生徒との共有、評価方法の工夫
- ④ 学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自らの学びを価値付ける場や方法の工夫

## 3 目的意識の醸成と自己決定を促す場や機会の充実、働き掛けの工夫による、自律性と社会性の育成

- ① キャリア・ノート等を活用した、目標の自己決定と定期的な振り返りの充実
- ② 特別活動において、一人一人の意見をしっかり反映させて集団の目指す姿を設定し、達成に向けて自分の個性・能力をどのように発揮し仲間と協働していくかを明確にし、自分たちの手でPDCAサイクルを実践する場や機会の充実
- ③ 道徳や特別活動において、多面的、多角的に考えを吟味し、判断することを促す場や機会の充実
- ④ 総合的な学習や特別活動において、実社会や世界の問題・課題を自分事としてとらえ、グローバル・マインドを発揮して、自分の考えを表現し、他者と合意形成したり協働したりしていく探究の過程の充実(地域独自の文化や自然風土、歴史的資産を大切にしながら、SDGsの視点から考え、アクションを起こしていく)

# 2021年度 実践の重点と具体的手立て

キーワード ⇒ 「学びを社会とつなぐ」「自主と協働の往還」「メタ認知」

## 4 多様な学びを保障する特別支援教育の組織的な推進

- ① 基礎的環境整備(学習環境のUDと指導方法のUD)の充実の組織的な推進(どの学級、どの授業、どの活動でも、当たり前に行われている状態に)
- ② 小学校との連携、ニーズと課題に対応した「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」に基づく合理的配慮の組織的な実践
- ③ アセスメント等に基づいた多面的な生徒理解と組織的な指導・支援の促進
- ④ 保護者の願いを丁寧に受け止める機会の一層の充実

## 5 質の高い教育活動を支える効率的な運営活動の充実

- ① 短時間で効率的に成果が上がる指導法の工夫(目的の明確化と慣例にとらわれず時間対効果からの検討)
- ② 情報共有と意志決定システムの徹底(諸会議の精選・重点化、質の改善)
- ③ 予算執行管理の徹底とコスト意識の一層の向上
- ④ 地域と学校パートナーシップ事業、小学校との実効性ある連携・協働の継続とコミュニティ・スクール実施に向けた準備の推進
- ⑤ 地域や社会で活躍する人材と一緒に、目指す資質・能力を育てる学習活動を計画、実施、評価する仕組みを創るための新たなプロジェクトの立ち上げ
- ⑥ 保護者、地域住民にとってわかりやすく、実践の付加価値を高める情報発信の工夫と充実
- ⑦ 職員一人一人のアイデア創出と実現力、外部との連携と折衝力、自由闊達な議論と協働性の向上を図る研修の工夫と充実

# 実践の重点の評価指標 ※新潟市学校園教育の3重点の評価

## 【重点2】各教科等の見方・考え方を働かせて深い学びが生まれる授業づくり

指標① 生徒アンケート(7月、12月)の質問項目 ⇒評価基準「全校平均値で3以上の観点→A:五つ、B:四つ」

「日々の授業での自分の姿を次の五つの観点で振り返って評価する」(4段階)

- ・自分の考えを筋道立てて説明している。
- ・仲間の考えを根拠と理由に注意して聞いている。
- ・仲間の考えを聞いた上で自分の考えを問い直している。
- ・納得し合える答えを導き出している。
- ・自分で学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりしている。

指標② 定期テスト(9月、11月)の思考力に関する問題の正答率 ⇒評価基準「全校平均値で正答率6割以上の教科→A:8割以上、B:5割以上」

## 【重点3】目的意識の醸成と自己決定を促す場や機会の充実、働き掛けの工夫による、自律性と社会性の育成

指標 生徒アンケート(7月、12月)の質問項目 ⇒評価基準「全校平均値で3以上の観点→A:四つ、B:三つ」

「日々の学校生活での自分の姿を次の四つの観点で振り返って評価する」(4段階)

- ・自分はどうしたいのか、どうなりたいのかという目標を明確にしている。
- ・仲間やかかわった人から自分のよさや能力を認められてうれしいと感じることがある。
- ・自分の考えに基づいた行動を、段取りを組み立ててやっている。
- ・仲間と力を合わせて問題を整理・分析し、よりよい解決方法を考えている。

## 【重点4】多様な学びを保障する特別支援教育の組織的な推進

指標 生徒アンケート(7月、12月)の質問項目 ⇒評価基準「全校平均値→A:4、B:3」

「日々の授業・活動を振り返って評価する」(4段階)

- ・日々の授業や活動は取り組みやすい。